



ポラス大型ブロック

しずか



しずかの特長

- ポラスコンクリート大型積ブロックで、施工性・経済性に優れています。
- 控長が1m以上必要な場合は、ブロックと裏込コンクリートを一体化できる構造としているため、より強固な壁体を構築することができます。
- ポラスコンクリートの連続空隙には、排水機能、吸音効果、明度低下の効果が期待できます。

用途

河川護岸



道路擁壁



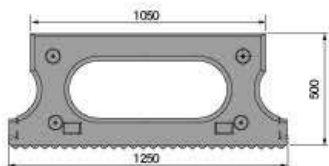
造成工事



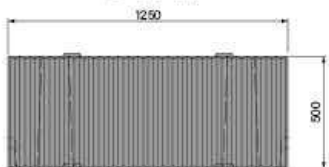
単体図

500SP型

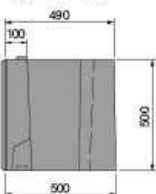
平面図



正面図

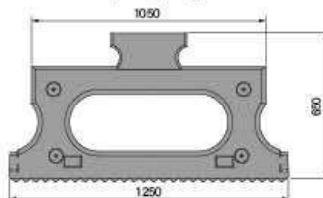


側面図

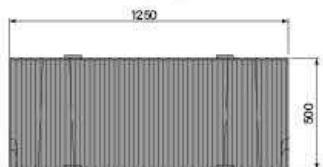


650型

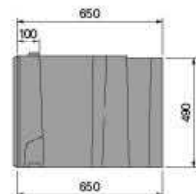
平面図



正面図

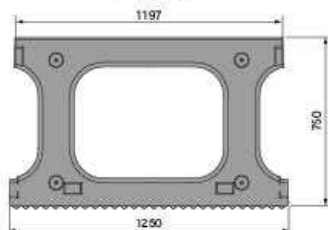


側面図

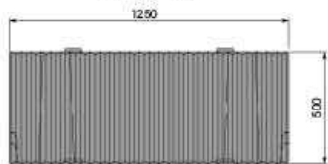


750SP型

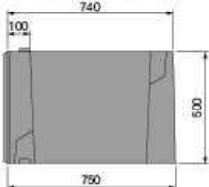
平面図



正面図

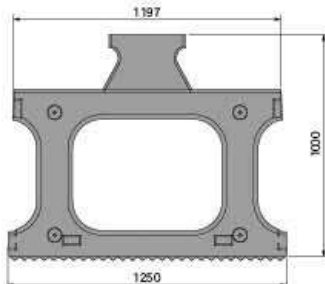


側面図

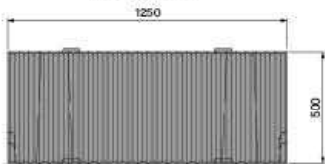


1000型

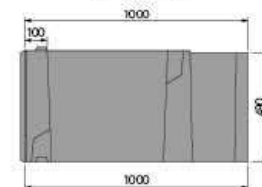
平面図



正面図

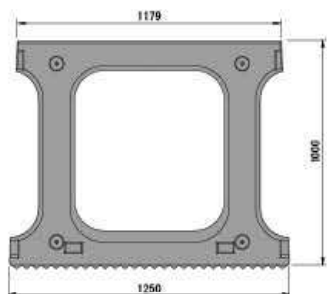


側面図

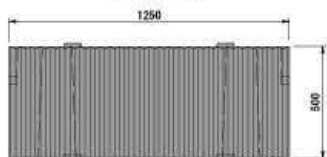


1000SP型

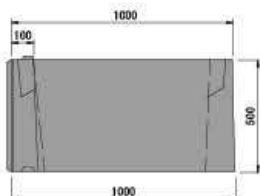
平面図



正面図

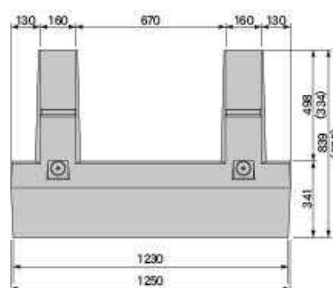


側面図

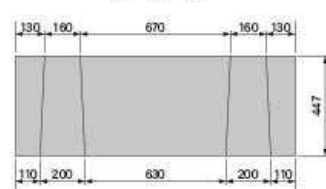


根石ブロック 750・1000型(500・650型)

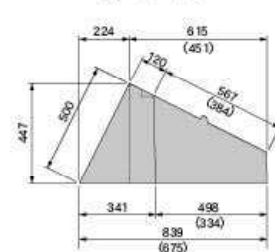
平面図



正面図



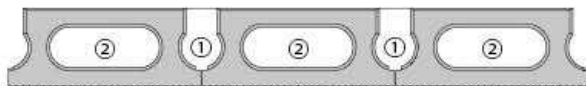
側面図



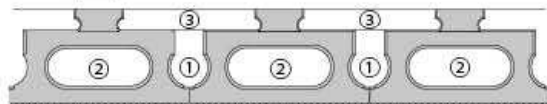


胴込材詳細図

500SP型



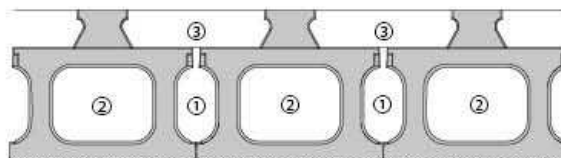
650型



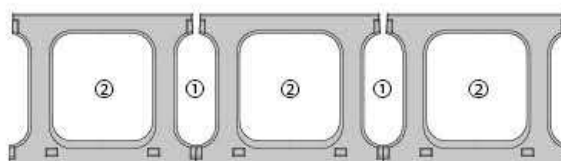
750SP型



1000型



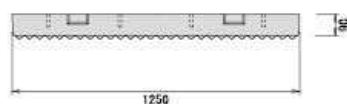
1000SP型



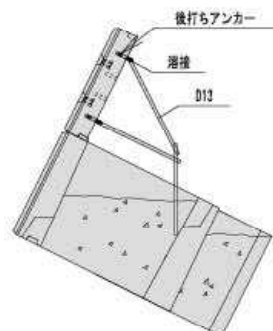
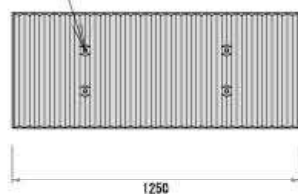
■ 胴込量

呼び名	1個当り ㎡数	㎡当り 使用個数	胴込量① ㎡/個	胴込量② ㎡/個	胴込量③ ㎡/個	合計胴込量	
						㎡/個	㎡/㎡
500SP型	0.625	1.600	0.045	0.095	—	0.140	0.224
650型			0.045	0.095	0.075	0.215	0.344
750SP型			0.066	0.171	—	0.237	0.379
1000型			0.066	0.171	0.123	0.360	0.576
1000SP型			0.108	0.252	—	0.360	0.576
根石ブロック(控 500使用時)			—			0.094	0.150
根石ブロック(控 650使用時)			—			0.117	0.187
根石ブロック(控 750使用時)			—			0.125	0.200
根石ブロック(控 1000使用時)			—			0.146	0.234

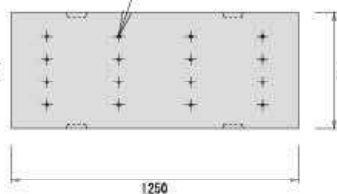
● 現場打調整コンクリート用の調整パネルがあります



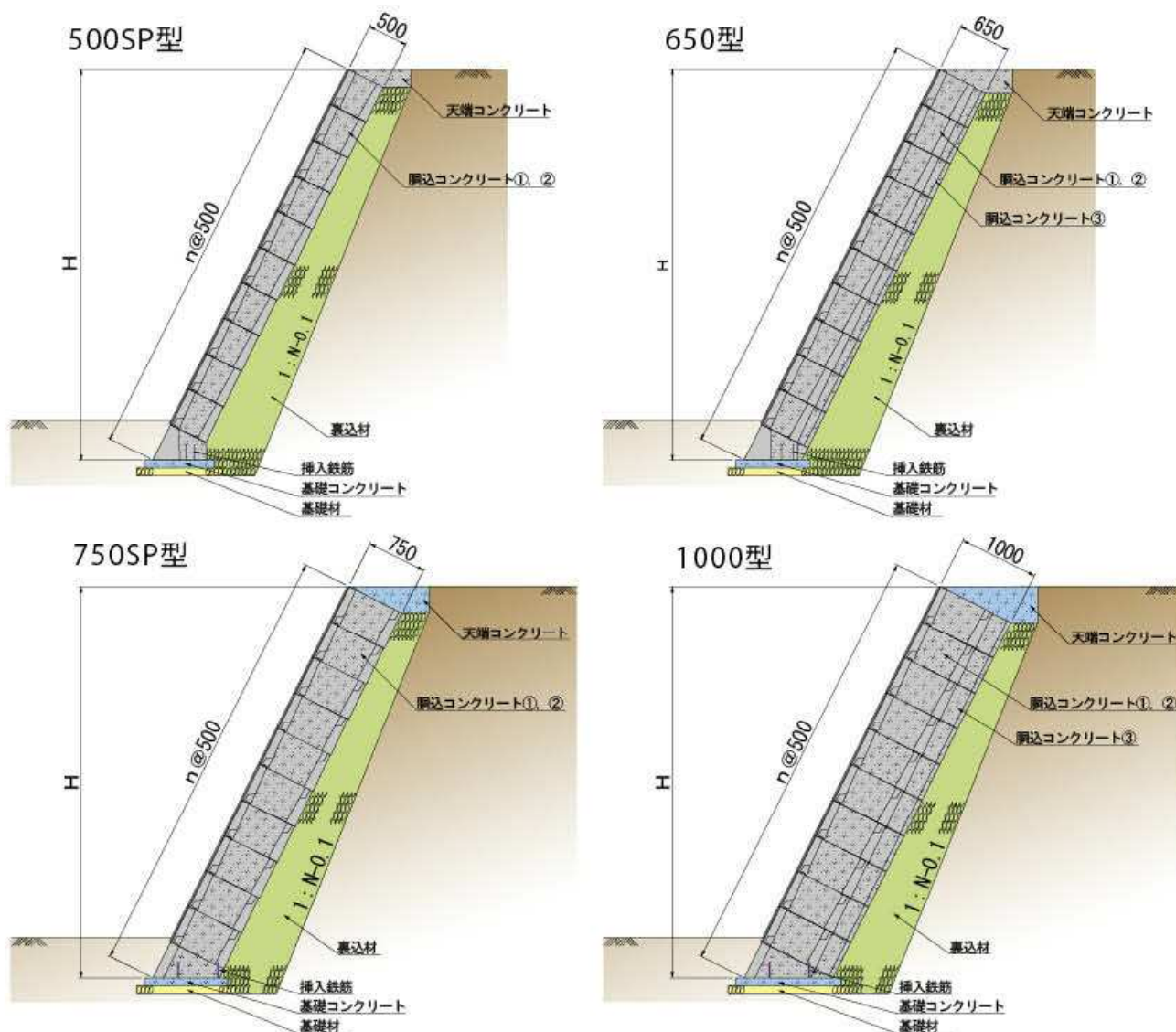
吊り用 112-40インサート 4箇所



後打ちアンカー用穴 φ13, L=50/60 16箇所



標準断面図



呼び名	参考質量 (kg)	価 格 (円)	寸 法 (mm)	備 考
500SP型	360		1250×500× 500	
650型	400		1250×500× 650	
750SP型	476		1250×500× 750	
1000型	558		1250×500×1000	
1000SP型	558		1250×500×1000	
根石ブロック500・650型	346		1250×500× 504	
根石ブロック750・1000型	369		1250×500× 687	
調整パネル	125		1250×500× 90	

製品明度

平均明度	3.5
証明書番号	0009号

製品テクスチャー

輝度の標準偏差	44
証明書番号	0062号



施工手順



① 根石ブロックを基礎コンクリート上に据付
(根石を使用しない場合は所定の基礎に③より開始)



② 根石ブロックの胴込コンクリート打設



③ 2 段目以降、本体ブロックを据付



④ 水抜パイプはノックアウト部を割り欠き設置



⑤ ブロック背面を設計書に基づいた裏込め材料で埋め戻し、ブロック形状・裏込コンクリートの有無に応じ抜き型枠を設置



⑥ 胴込コンクリートを所定の胴込め部に打設



⑦ 抜き型枠を撤去し、裏込材を転圧



⑧ 移行③～⑦を繰り返し、最上部に天端工を施工

施工例

